

# 1. アンケート調査の概要

## ■アンケートの媒体

調査種別	媒体	実施内容	実施期間
①既存の事故危険区間 や新たな事故危険区 間に関するアンケート	ホーム ページ	・事務所HP「事故ゼロプラン道路利用者アンケート」 を改良の上、継続	昨年度～継続中
	ハガキ	・新潟県内の市町村役場、国道事務所(出張所)、お よび道の駅への留め置き ・その他、運転免許センター、商業施設への留め置き を実施	平成26年11月25日～ 平成26年12月20日
		・新潟県内の主要な道の駅でインタビュー形式による アンケートを実施。 ・実施箇所:朝日・豊栄・ちぢみの里おぢや・あらい	インタビューアンケート 平成25年12月22日(月)
②事故対策実施区間の 評価アンケート	Web	・事故対策実施区間17区間の評価について、新潟県 在住のWebモニターを対象として、インターネット アンケート調査を実施	平成26年1月15日～ 平成26年1月19日



ポスター



パンフレット  
(ハガキアンケート付)

留め置きアンケート(道の駅朝日)



インタビューアンケート(道の駅豊栄)

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■ 調査概要

- ホームページアンケートとハガキアンケート(留め置き等、道の駅インタビュー調査)を実施
- 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケートを実施

### ■ 設問構成

問1. 事故対策未実施区間について 交通事故の危険を感じる区間、早く対策を行った方が良いと思う区間を教えてください。
問2. 事故危険区間以外の区間について 交通事故の危険を感じる場所とその理由を教えてください。
問3. 事故ゼロプランという取り組みを知っていましたか？ ①認知度、②認知媒体 <span style="color: red;">※ハガキアンケートのみ</span>
問4. その他、交通安全対策に関するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。
問5. 属性 ①年齢、②性別、③住所、④利用交通手段、⑤自動車の利用頻度、⑥自動車の利用目的

### ■ ハガキアンケート(留め置き等)の内訳

	配布先	配布数	回収数
県関係	12件	240枚	0件
市町村	36件	875枚	4件
道の駅	36件	2470枚	8件
国道事務所	4件	200枚	1件
関係協会等	26件	940枚	11件
モニター参加者	27件	108枚	15件
<b>合計</b>	<b>141件</b>	<b>4833枚</b>	<b>39件</b>

### ■ アンケートの回答数

調査種別	H25年度	H26年度
ホームページアンケート	31件	32件
ハガキアンケート	456件	170件
ハガキアンケート(留め置き等)	95件	39件
道の駅インタビュー調査	361件	131件
<b>合計</b>	<b>487件</b>	<b>202件</b>

### ■ 道の駅インタビュー調査の内訳

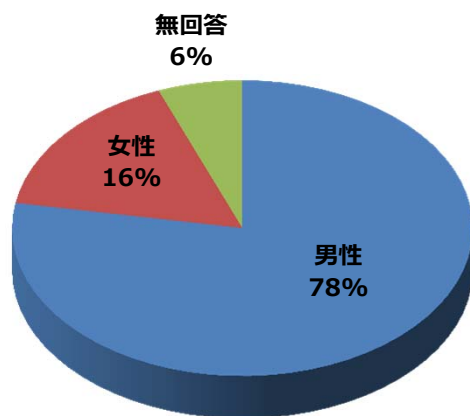
	回収数
朝日(まほろば)(村上市・国道7号)	29件
豊栄(新潟市・国道7号)	50件
ちぢみの里おぢや(小千谷市・国道17号)	25件
あらい(妙高市・国道18号)	27件
<b>合計</b>	<b>131件</b>

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■ アンケート回答者の属性

#### ■ 性別

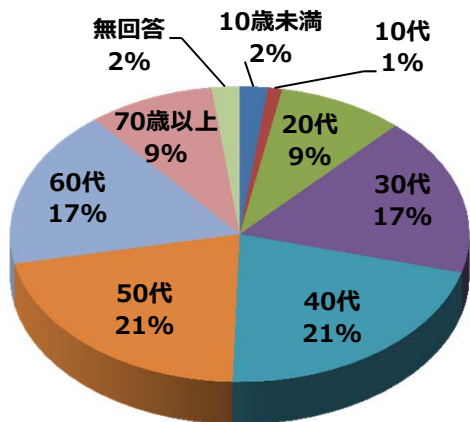
男性が78%、女性が16%



N=202

#### ■ 年齢

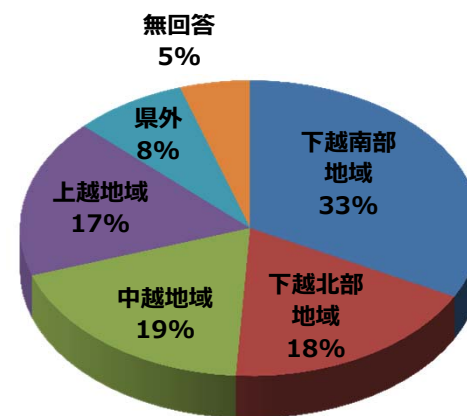
40～50代が多い



N=202

#### ■ 居住地

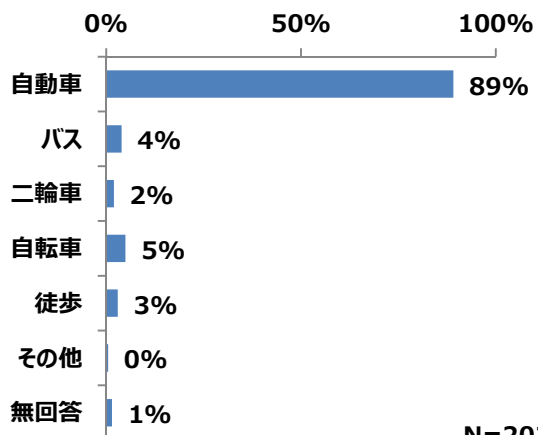
下越南部地域が多いが大きな偏りはない



N=202

#### ■ 利用交通手段

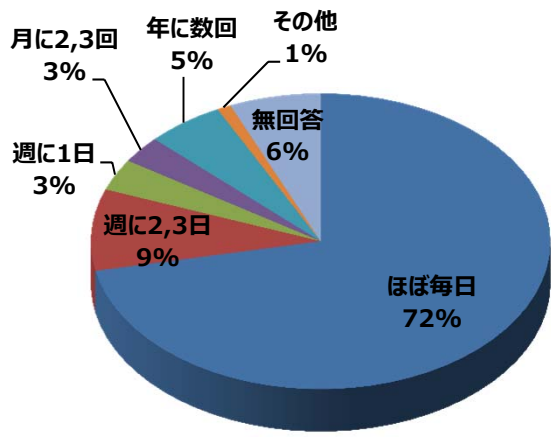
自動車が約9割



N=202

#### ■ 自動車の利用頻度

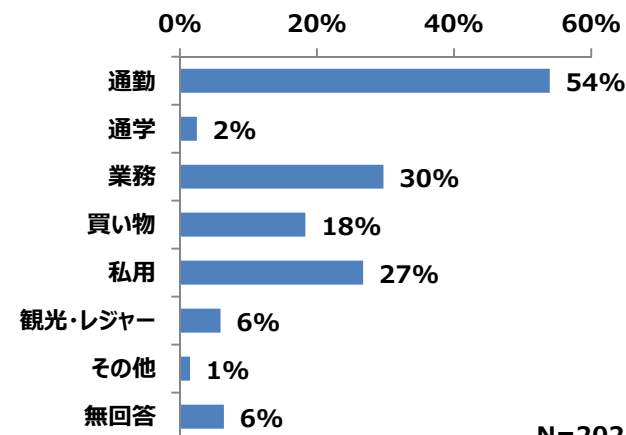
ほぼ毎日が約7割で利用頻度は高い



N=202

#### ■ 自動車の利用目的

通勤が54%と最も多い



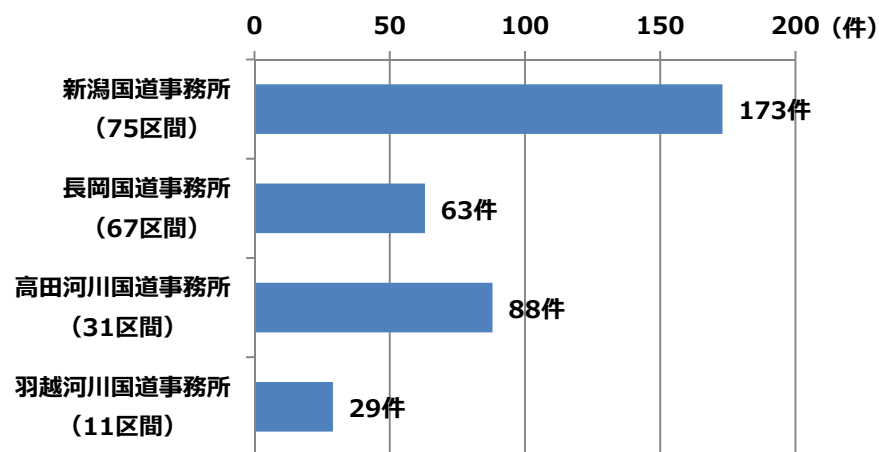
N=202

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

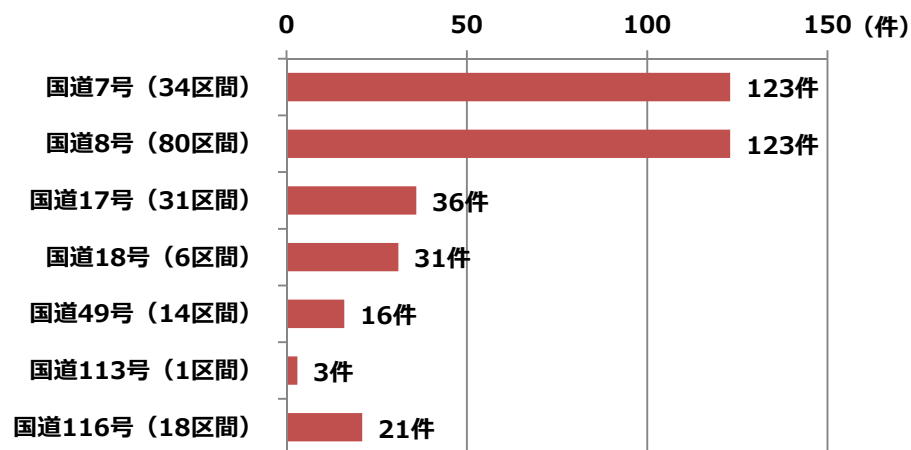
### ■ 未対策実施区間における対策要望について

- 対策要望が最も多かった事務所は新潟国道事務所管内の事故危険区間であった。
- 路線別では、国道7、8号の事故危険区間に対する要望が最も多かった。

### ■ 事務所別の対策要望件数



### ■ 路線別の対策要望件数



### ■ 対策要望の多かった区間トップ5

#### ● 新潟国道事務所

順位	区間番号	路線番号	区間名	市区町村	合計
1	265	7	竹尾IC～紫竹山IC	新潟市中央区	20件
2	19	8	女池IC	新潟市中央区	19件
3	15	7 (8)	紫竹山IC (ランプ部)	新潟市中央区	17件
4	11	7	濁川 I C	新潟市北区	8件
4	18	8	桜木IC	新潟市中央区	8件

#### ● 長岡国道事務所

順位	区間番号	路線番号	区間名	市区町村	合計
1	120	17	和南津トンネル～和南津橋	長岡市	6件
1	122	17	妙見堰交差点～妙見交差点	長岡市	6件
3	126	17	川崎南交差点	長岡市	5件
4	261	8	寺島交差点	長岡市	4件
5	92	8	新町1丁目交差点～愛宕2丁目	長岡市	3件
5	305	17	川口支所前交差点	長岡市	3件

#### ● 高田河川国道事務所

順位	区間番号	路線番号	区間名	市区町村	合計
1	310	18	道の駅あらい出入り口	妙高市	14件
2	162	8	有間川～間脇	上越市	6件
2	309	18	関山交差点	妙高市	6件
4	133	8	下源入交差点	上越市	5件
4	135	8	名立小泊1	上越市	5件
4	308	18	白田切橋	妙高市	5件

#### ● 羽越河川国道事務所

順位	区間番号	路線番号	区間名	市区町村	合計
1	75	7	蒲萄集落	村上市	10件
2	74	7	蒲萄トンネル	村上市	7件
3	67	7	牧目交差点	村上市	4件
3	302	7	猿沢地区	村上市	4件
5	68	7	上助漕交差点～牛沢交差点	村上市	2件

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

### ■ 事故危険区間のアンケート新規抽出

- 事故危険区間以外で、交通事故の危険性の高い区間について回答して頂いた。
- 今年度はアンケートによりX区間の新規事故危険区間を抽出した。

### ■ アンケートによる事故危険区間の新規抽出について

Q. 事故危険区間以外に、交通事故の危険性が高いと思われる区間とその理由を記入してください。

**自由回答形式**で答えてもらい、  
**複数件以上**の回答を頂いた箇所を新規箇所として抽出

**6区間**

- ・隣接区間の統合
- ・管理事務所等の意見照会

H26年度アンケート新規抽出区間

**2区間**

### ■ 参考: アンケートによる新規抽出区間数の経緯

H25年度 新規抽出区間 **6区間** / アンケート総数 **487件**

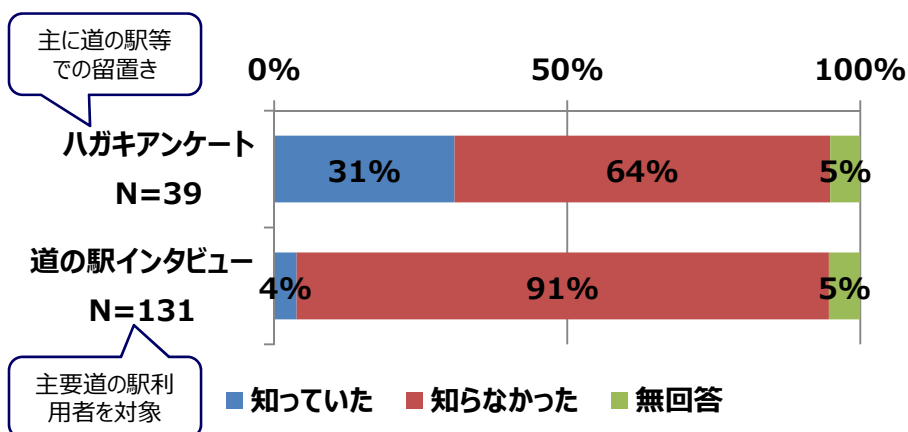
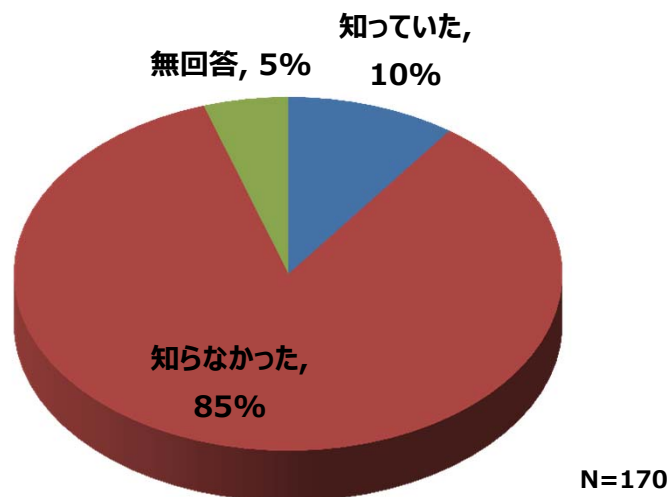
H26年度 新規抽出区間 **2区間** / アンケート総数 **202件**

## 2. 既存の事故危険区間や新たな事故危険区間に関するアンケート

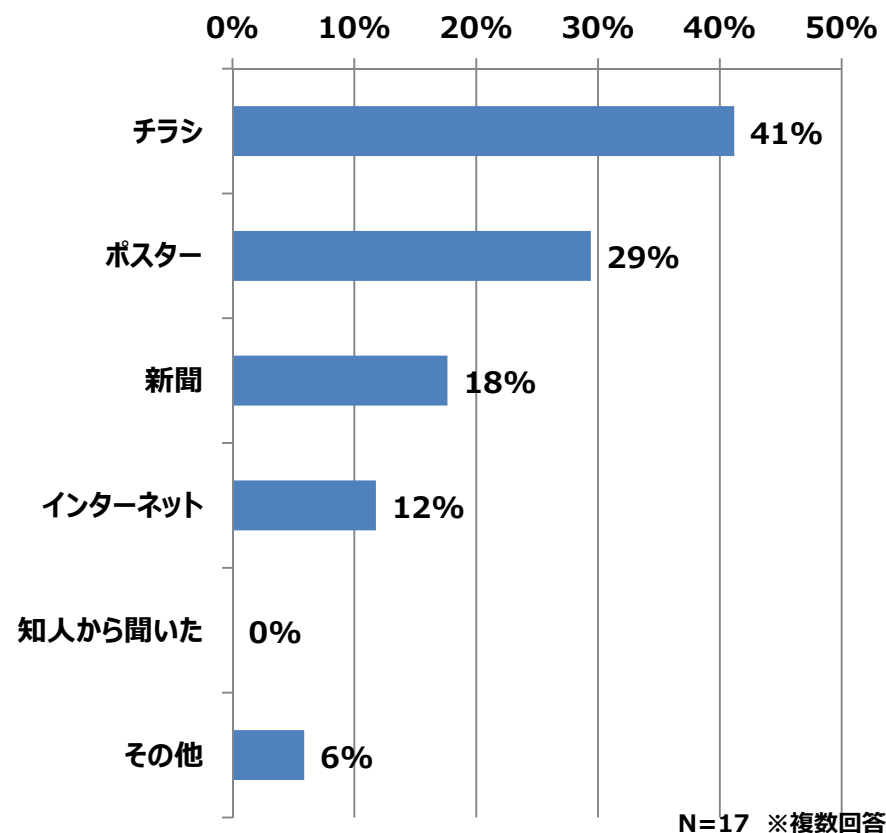
### ■ 事故ゼロプランの認知度・認知媒体

- 事故ゼロプランの認知度は全体で10%。
- 調査種別毎の認知度は、ハガキアンケートで31%、道の駅インタビューで4%。
- 事故ゼロプランの認知媒体は、チラシが最も多く、次いでポスター、新聞、インターネットの順。

#### ■ 事故ゼロプランの認知度



#### ■ 事故ゼロプランの認知媒体



### 3. 事故対策実施区間の評価アンケート

#### ■ 調査概要

- 新潟県在住のWebモニターに対し、対策箇所を1ヶ月に1回以上利用する方を抽出
- 対策内容を認知しているか把握し、事故対策箇所の評価に関するアンケートを実施

新潟県在住の  
Webモニターを対象

#### 事前調査

Q.対象区間の通行頻度をお聞かせください。



1. ほぼ毎日
2. 週に4~5日程度
3. 週に数回程度
4. 1ヶ月に数回程度
5. 年に数回程度
6. ほとんど利用しない・利用したことがない

#### 本調査

Q.下図に示すような対策を実施しました。ご存知でしたか？

国道7号 塩沢交差点～近江新交差点（胎内市）



対策箇所や対策内容、  
効果、写真等を掲載

1. 知っていた

2. 知らなかった

Q.対策によって注意するようになったこと  
(自分の運転の変化)

Q.対策によって減った  
と思う事故危険事象  
(他人の運転の変化)

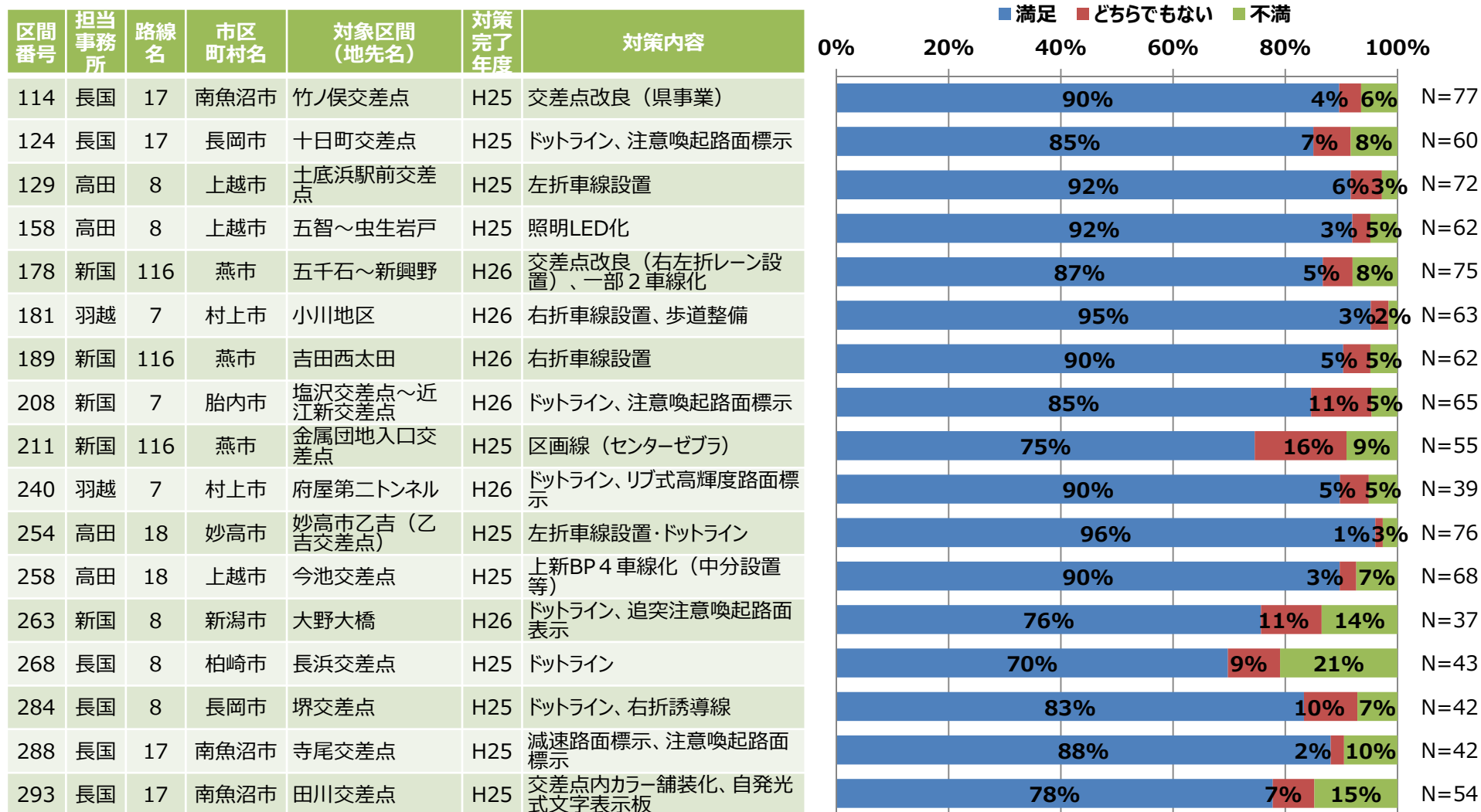
Q.事故対策の評価

Q.自由意見

### 3. 事故対策実施区間の評価アンケート

#### ■ 対策実施済み区間における評価について

- 評価を行った全ての区間で、「満足」という回答が7割上という回答が得られている。



※対象区間の日常的利用者(1ヶ月に1回以上利用)のうち、事故対策を知っていた方を対象